戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	21133　環境衛生事務費													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	01	04	02	01	記入日	平成30年06月11日
	H29	15	04	00		H29	01	04	01	04	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	● 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	○ 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	平成１６年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市あき地の環境保全に関する条例 ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例	関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画
事業区分	○ 法定受託事務　○ 自治事務のうち義務的なもの　● 自治事務のうち任意のもの		
対象	市民及び土地所有者		
事業目的	市民の環境美化意識を高め、きれいで安全で快適な生活環境を確保する。また、空き地を清潔に保持し、市内の景観維持や防犯を促進すること。また、スズメバチの巣の駆除等を実施し、市民の安全を守ること。		
事業内容	「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」を啓発し、市民の環境美化意識の高揚を図る。また、雑草等が繁茂している空き地について、その所有者へ草刈りの通告を行っている。また、スズメバチの巣の駆除等を実施している。		
実施主体	■市による単独直営　■委託　（□3ｾｸ･財団　■企業　□市民･NPO）　□協働･協力（　　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識	ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識	ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識	ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識	ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識
事業費			26,963	30,391	30,391	30,391	30,391
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		13,820	11,410	11,410	11,410	11,410
	一般財源		13,143	18,981	18,981	18,981	18,981
人件費			5,655.54	4,276.14	4,276.14	4,276.14	4,276.14
投入人員	常勤職員		0.82 人	0.62 人	0.62 人	0.62 人	0.62 人
	非常勤職員		0.13 人	0.08 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人
事業費＋人件費			32,619	34,667	34,667	34,667	34,667

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	定期パトロール	回	市内空き地のパトロール回数	4	4	4
				4	4	－
活動②						
						－
成果①	放置雑草地の改善件数	件	改善通知等により改善された件数	5	5	5
				6	4	－
成果②						
						－

目標達成状況の分析	
	Ａ：活動・成果ともに達成した。
	＜判断理由＞ 放置雑草地の改善件数については、発生した４件に対し、所有者に改善通知を発送し解決を図った。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 空き地を清潔に保つよう、所有者に対し適切に改善指導を実施している。また、ポイ捨て禁止条例啓発キャンペーンを市内３駅で実施し、市民の環境美化意識の向上に努めた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 空き地の保全については、所有者の費用により実施されている。また条例啓発キャンペーンは、町会・自治会、各団体や地元小学生のボランティアにより実施した。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市民から通報があった空き地へは、直ちに現場を確認し、所有者等への改善通知を発送する対応を取っている。また、条例啓発キャンペーンは、朝の通勤時間帯に対応することで、効果的に啓発できている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市内全域の空き地の保全に寄与している。また、ポイ捨て禁止条例は、市内全域を対象としているため公平性は保たれている。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	● １現状で継続　○ ２拡大して継続　○ ３縮小して継続　○ ４他事業と統合　○ ５休止 ○ ６その他見直し　○ 平成３１年度で終了 ○ 平成３０年度で終了 ○ 平成２９年度で終了 ＜判断理由＞ 市内の空き地の保全及びスズメバチの巣の撤去を実施するため継続する。また、「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」の施行後９年を経過したが、いまだ改善しきれていない場所もあるため、喫煙制限区域の指定による効果を検証しながら、更なる効果的な条例の周知が必要である。
今後の取組方針	市民からの通報に迅速に対応し、空き地の所有者に改善通知を実施できるよう継続して取り組んでいく。また、「喫煙制限区域」の指定及び巡回啓発業務等による効果を検証しながら、引き続き喫煙マナーの向上に努める。

戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	6999　狂犬病予防事業													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	01	04	03	01	記入日	平成30年06月08日
	H29	15	04	00		H29	01	04	01	04	03	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	○ 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	● 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	昭和４１年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	狂犬病予防法	関連計画 施政方針	
事業区分	● 法定受託事務　○ 自治事務のうち義務的なもの　○ 自治事務のうち任意のもの		
対象	犬を飼っている家庭		
事業目的	市内における狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。		
事業内容	生後９１日以上の犬の登録と鑑札の交付。年１回狂犬病予防集合注射の実施と注射済票の交付。また、広報等を用いて狂犬病予防注射の実施を促進している。		
実施主体	■市による単独直営　□委託　（□3ｾｸ･財団　□企業　□市民･NPO）　□協働･協力（　　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			狂犬病予防集合注射の実施等により、狂犬病の発生を	狂犬病予防集合注射の実施等により、狂犬病の発生を	狂犬病予防集合注射の実施等により、狂犬病の発生を	狂犬病予防集合注射の実施等により、狂犬病の発生を	狂犬病予防集合注射の実施等により、狂犬病の発生を
事業費			1,039	1,432	1,432	1,432	1,432
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		1,039	1,432	1,432	1,432	1,432
	一般財源		0	0	0	0	0
人件費			1,931.16	1,793.22	1,793.22	1,793.22	1,793.22
投入人員	常勤職員		0.28 人	0.26 人	0.26 人	0.26 人	0.26 人
	非常勤職員		0.3 人	0.12 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人
事業費＋人件費			2,970	3,225	3,225	3,225	3,225

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	狂犬病予防集合注射の実施	回	市内会場にて予防注射を実施	4	4	4
				4	4	－
活動②						
						－
成果①	狂犬病発生件数	件		0	0	0
				0	0	－
成果②						
						－

目標達成状況の分析	
	Ａ：活動・成果ともに達成した。 ＜判断理由＞ 狂犬病発生件数が０件であり、事業目標は達成されている。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の発生を抑制しているため。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 狂犬病予防集合注射の会場や実施方法について十分検討し、効率よく実施している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 狂犬病予防集合注射会場や実施方法等について検討、見直しを実施しているため。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市内全域で狂犬病の発生抑制できているため。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	● １現状で継続　○ ２拡大して継続　○ ３縮小して継続　○ ４他事業と統合　○ ５休止 ○ ６その他見直し　○ 平成３１年度で終了 ○ 平成３０年度で終了 ○ 平成２９年度で終了 ＜判断理由＞ 狂犬病予防注射は法により義務付けされているため、１００%の接種に向け、集合注射等の事業を引き続き実施する必要がある。
今後の取組方針	引き続き狂犬病予防集合注射の会場等について精査し、効率よい狂犬病予防事業を実施する。また、畜犬管理システムを活用し、予防注射接種率の向上を目指す。

戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	21134　清掃総務事務費													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	02	01	01	01	記入日	平成30年06月11日
	H29	15	04	00		H29	01	04	02	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	○ 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	● 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	平成１６年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画
事業区分	○ 法定受託事務　○ 自治事務のうち義務的なもの　● 自治事務のうち任意のもの		
対象	地域住民		
事業目的	不法投棄の回収・監視等を実施することにより、市内の環境美化を図る。		
事業内容	環境パトロールにより不法投棄物を回収をし、さらに、環境パトロール及び市民の通報による不法投棄頻発箇所の調査及び監視を実施している。		
実施主体	■市による単独直営　■委託　（□3ｾｸ･財団　■企業　□市民･NPO）　□協働･協力（　　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			不法投棄防止に対策やごみの減量化対策を実施	不法投棄防止に対策やごみの減量化対策を実施	不法投棄防止に対策やごみの減量化対策を実施	不法投棄防止に対策やごみの減量化対策を実施	不法投棄防止に対策やごみの減量化対策を実施
事業費			10,000	19,372	76,385	76,385	76,385
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		4,499	6,828	6,828	6,828	6,828
	一般財源		5,501	12,544	69,557	69,557	69,557
人件費			4,000.26	4,827.9	7,586.7	7,586.7	7,586.7
投入人員	常勤職員		0.58 人	0.7 人	1.1 人	1.1 人	1.1 人
	非常勤職員		0.25 人	0.12 人	0.36 人	0.36 人	0.36 人
事業費＋人件費			14,000	24,200	83,972	83,972	83,972

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	不法投棄調査件数	件	通報及びパトロールによる発生件数	1,000	1,000	1,000
				1,952	1,205	－
活動②						
						－
成果①	不法投棄個数		通報及びパトロールよる回収個数		4,000	4,000
					4,346	－
成果②						
						－

目標達成状況の分析	
	Ｃ：活動・成果ともに達成できなかった。
	＜判断理由＞ 不法投棄件数については目標を達成することはできなかったが、減少傾向にある。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 不法投棄の監視やごみの減量化対策を実施することにより、良好な地域環境を保持することができている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 不法投棄監視カメラの撤去により、経費の削減に繋がっている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 不法投棄対策やごみの減量化に効果がある。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 不法投棄対策や、ごみの減量化対策により市内の環境美化に寄与している。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	事業の見直しを実施し、平成３０年度から環境対策基金費を統合した。
見直しの効果	今後、清掃総務事務費全体で効果を検証していく。

5. 今後の方針

事業の方向性	○１現状で継続　○２拡大して継続　○３縮小して継続　●４他事業と統合　○５休止 ○６その他見直し　○平成３１年度で終了 ○平成３０年度で終了 ○平成２９年度で終了
	＜判断理由＞ 平成３０年度から環境対策基金費と統合。 駅周辺等清掃事業の統合に向けて進めていく。
今後の取組方針	不法投棄防止やごみの減量化対策を、引き続き実施する。また、さらなる効果的な対策について検討する。

戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	21137　し尿収集事業													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	02	02	02	01	記入日	平成30年06月11日
	H29	15	04	00		H29	01	04	02	02	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	○ 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	● 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	平成１６年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画
事業区分	○ 法定受託事務　● 自治事務のうち義務的なもの　○ 自治事務のうち任意のもの		
対象	市民及び汲み取り世帯		
事業目的	汲み取り式トイレのし尿等を収集運搬し、保健衛生環境を向上させること。		
事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬や手数料の徴収。また、花見会場における仮設トイレの設置。		
実施主体	□市による単独直営　■委託　（□3ｾｸ･財団　■企業　□市民･NPO）　□協働･協力（　　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。
事業費			7,755	8,450	8,450	8,450	8,450
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		967	1,073	1,107	1,107	1,107
	一般財源		6,788	7,377	7,343	7,343	7,343
人件費			1,724.25	1,517.34	1,517.34	1,517.34	1,517.34
投入人員	常勤職員		0.25人	0.22人	0.22人	0.22人	0.22人
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人
事業費＋人件費			9,479	9,967	9,967	9,967	9,967

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	し尿汲み取りの手数料	円	@305×一般利用人数＋ @335×業務利用人数	1,102,000 953,020	1,017,000 967,540	1,073,000 －
活動②						 －
成果①	汲み取り世帯からの苦情	件		0 0	0 0	0 －
成果②						 －

目標達成状況の分析	
	Ａ：活動・成果ともに達成した。 ＜判断理由＞ し尿汲み取り、運搬を完全実施し、し尿汲み取り世帯の保健衛生に寄与した。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ し尿汲み取り世帯の全世帯に対し汲み取りを実施しており、保健衛生の向上に寄与しているため。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 汲み取り世帯の減少により、経費も減少している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 定期的にもれなく汲み取りを実施し、市民からの要望には迅速かつ適正に対応している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 適切に汲み取りを実施することにより、市内の保健衛生の向上に寄与しているため。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	● １現状で継続　○ ２拡大して継続　○ ３縮小して継続　○ ４他事業と統合　○ ５休止 ○ ６その他見直し　○ 平成３１年度で終了 ○ 平成３０年度で終了 ○ 平成２９年度で終了 ＜判断理由＞ 下水道及び浄化槽への転換により、汲み取り世帯は減少傾向にあるが、対象世帯の保健衛生の向上のため、継続して実施する必要がある。
今後の取組方針	公共下水道の普及に至るまで、継続する必要がある。

戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	7005　駅周辺等清掃事業													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	02	02	04	01	記入日	平成30年06月11日
	H29	15	04	00		H29	01	04	02	02	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	○ 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	● 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	昭和４５年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画
事業区分	○ 法定受託事務　● 自治事務のうち義務的なもの　○ 自治事務のうち任意のもの		
対象	地域住民		
事業目的	市内３駅周辺の公衆衛生を確保すること。		
事業内容	市内３駅周辺の清掃業務を実施している。また、市で維持管理している駅前トイレの清掃を実施している。		
実施主体	■ 市による単独直営　■ 委託　（□ 3ｾｸ･財団　■ 企業　□ 市民･NPO）　□ 協働･協力（　　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			駅トイレ・駅周辺清掃及び新曽地区Ｕ字溝清掃の実施	駅トイレ・駅周辺清掃及び新曽地区Ｕ字溝清掃の実施	駅トイレ・駅周辺清掃及び新曽地区Ｕ字溝清掃の実施	駅トイレ・駅周辺清掃及び新曽地区Ｕ字溝清掃の実施	駅トイレ・駅周辺清掃及び新曽地区Ｕ字溝清掃の実施
事業費			55,464	57,013	0	0	0
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0
	一般財源		55,464	57,013	0	0	0
人件費			3,586.44	3,034.68	0	0	0
投入人員	常勤職員		0.52 人	0.44 人	0 人	0 人	0 人
	非常勤職員		0.15 人	0.07 人	0 人	0 人	0 人
事業費＋人件費			59,050	60,048	0	0	0

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	清掃回数	回	年間稼働回数×３駅	894	882	882
				885	885	－
活動②						
						－
成果①	苦情件数	件		0	0	0
				0	0	－
成果②						
						－

目標達成状況の分析	
	Ａ：活動・成果ともに達成した。 ＜判断理由＞ 障がい者等による駅のトイレ及び駅周辺清掃を実施し、環境美化の維持に努めている。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市の玄関口である３駅周辺及び駅前公衆トイレの清掃は、環境美化や保健衛生の向上に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 障がい者の就労の場としても重要な事業である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 業務委託仕様書に障がい者の雇用について明記し、障がい者等に就労の場を提供している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市の玄関口である３駅周辺及び駅前公衆トイレを清潔にすることにより、市民のほか、駅利用者の全てが快適に利用することができる。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	○１現状で継続　○２拡大して継続　○３縮小して継続　○４他事業と統合　○５休止 ○６その他見直し　○平成３１年度で終了　●平成３０年度で終了　○平成２９年度で終了 ＜判断理由＞ 清掃総務事務費への統合を検討していく。
今後の取組方針	３駅を利用する市民に快適に利用してもらうため、今後とも継続して実施する必要がある。

戸田市　事務事業評価　≪事後評価シート≫

事務事業名	7006　蕨戸田衛生センター分担金													
担当組織	環境経済部				環境課							担当	クリーン推進担当	
組織コード	H30	15	04	00	会計･款･項･目･大事業･中事業	H30	01	04	02	03	01	01	記入日	平成30年06月11日
	H29	15	04	00		H29	01	04	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ			実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち	○ 対象
分野	04	廃棄物・リサイクル	● 対象外
施策	46	環境衛生対策の充実	

事業期間	平成１７年度 ～ 平成３２年度		
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連計画 施政方針	
事業区分	○ 法定受託事務　● 自治事務のうち義務的なもの　○ 自治事務のうち任意のもの		
対象	市民、事業者、蕨戸田衛生センター		
事業目的	蕨戸田衛生センターにおける円滑で効率的なごみ処理事業の運営を支援すること。		
事業内容	ごみの焼却等処理、し尿処理及びセンター運営に伴う分担金を支出する。		
実施主体	■市による単独直営　□委託　（□3ｾｸ･財団　□企業　□市民･NPO）　■協働･協力（　一部事務組合　）		

2. 実施結果

事業の予算・実績			平成２９年度 執行額（千円）	平成３０年度 予算額（千円）	平成３１年度 計画額（千円）	平成３２年度 計画額（千円）	平成３３年度 計画額（千円）
事業内容			し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施
事業費			754,142	804,295	884,725	884,725	884,725
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0
	一般財源		754,142	804,295	884,725	884,725	884,725
人件費			2,758.8	3,517.47	4,138.2	4,138.2	4,138.2
投入人員	常勤職員		0.4人	0.51人	0.6人	0.6人	0.6人
	非常勤職員		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
事業費＋人件費			756,901	807,812	888,863	888,863	888,863

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	Ｈ２８目標 Ｈ２８実績	Ｈ２９目標 Ｈ２９実績	Ｈ３０目標 Ｈ３０実績
活動①	蕨戸田衛生センター議会開催回数	回		4	4	4
				4	4	－
活動②						
						－
成果①	分担金の支出額	円		822,793,000	822,793,000	804,295,000
				774,918,000	754,142,000	－
成果②						
						－

目標達成状況の分析	
	Ａ：活動・成果ともに達成した。
	＜判断理由＞ 蕨戸田衛生センターからの運営分担金については全額支出をしている。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：施策の目標達成に大いに貢献している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 分担金を支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に運営され、安定的に家庭ごみやし尿処理が実施できるため。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：経費の精査が十分になされている。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 本市、蕨市及び蕨戸田衛生センターの３者において、連絡協議会が組織され、十分に精査されているため。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 分担金を支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に運営されているため。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	２７年度	２８年度	２９年度	Ａ：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	Ａ	Ａ	Ａ	＜判断理由＞ 市内全域から出る家庭ごみ及びし尿の処理を安定的に実施している。

4. 平成２９年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	○１現状で継続　●２拡大して継続　○３縮小して継続　○４他事業と統合　○５休止 ○６その他見直し　○平成３１年度で終了 ○平成３０年度で終了 ○平成２９年度で終了
	＜判断理由＞ 蕨戸田衛生センターの運営は、円滑に実施されている。 平成３１～３３年度に蕨戸田衛生センターの施設延命化工事により事業の拡大。
今後の取組方針	今後も市内の家庭ごみやし尿を安定的に処理するため、連絡協議会等により十分精査し、継続して分担金を支払うことが必要である。